

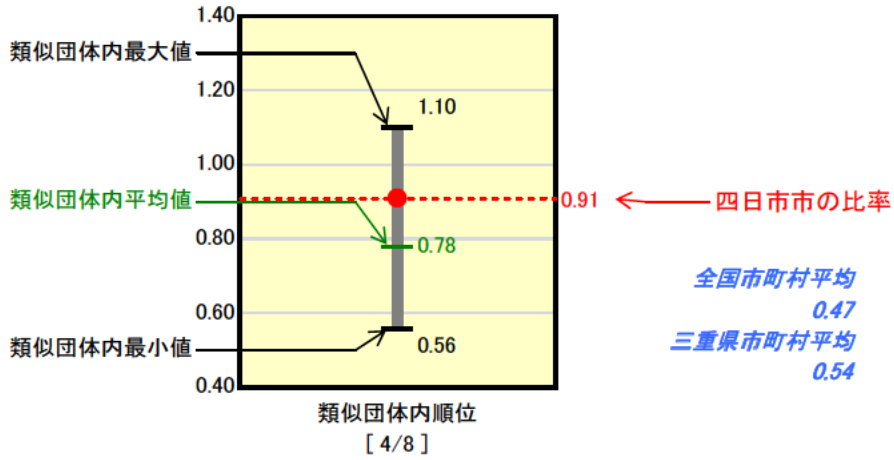
市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

三重県 四日市市

人口	301,116 人(H17.3.31現在)
面積	205.16 km ²
歳入総額	96,274,580 千円
歳出総額	94,669,809 千円
実質収支	1,184,592 千円

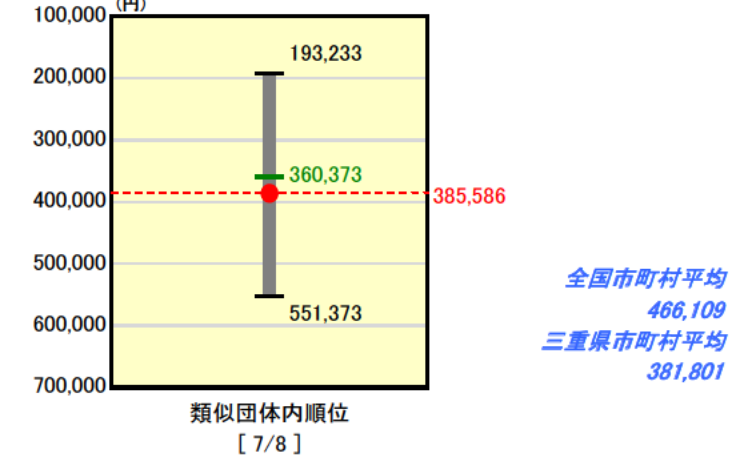
財政力

財政力指数 **[0.91]**



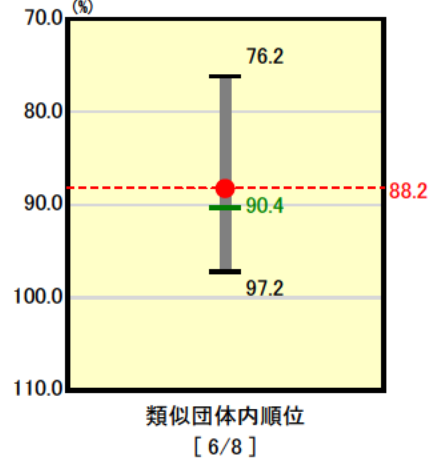
将来負担の健全度

人口1人当たり地方債現在高 **[385,586円]**



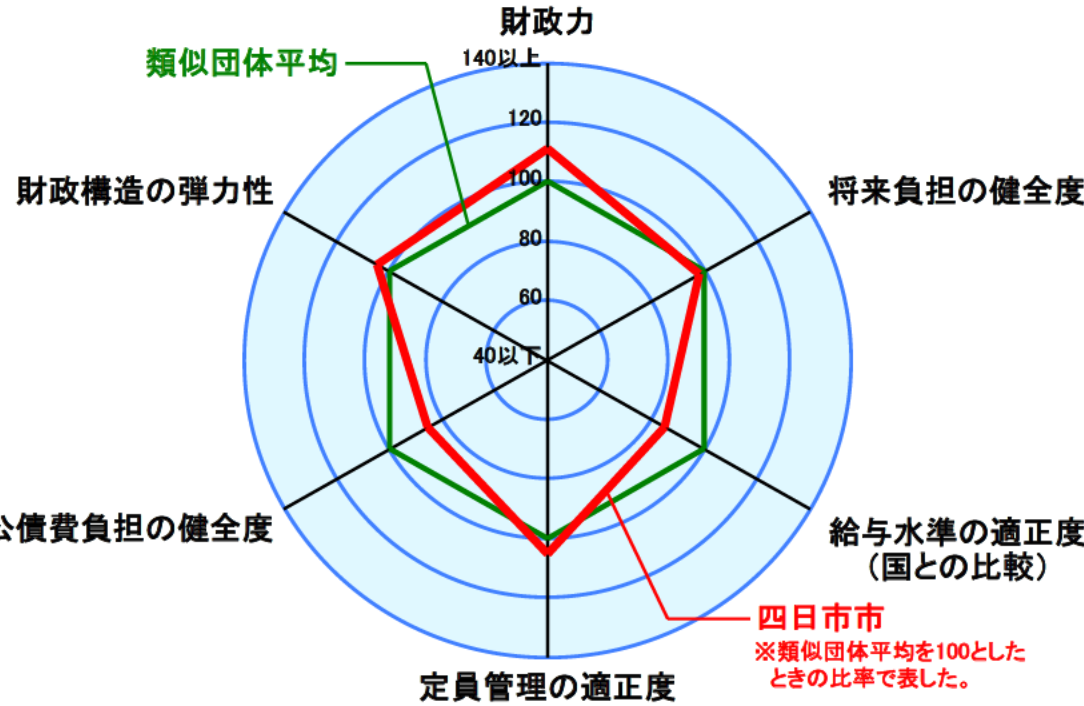
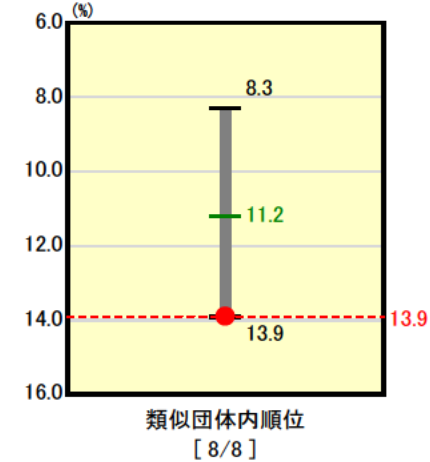
財政構造の弾力性

経常収支比率 **[88.2%]**



公債費負担の健全度

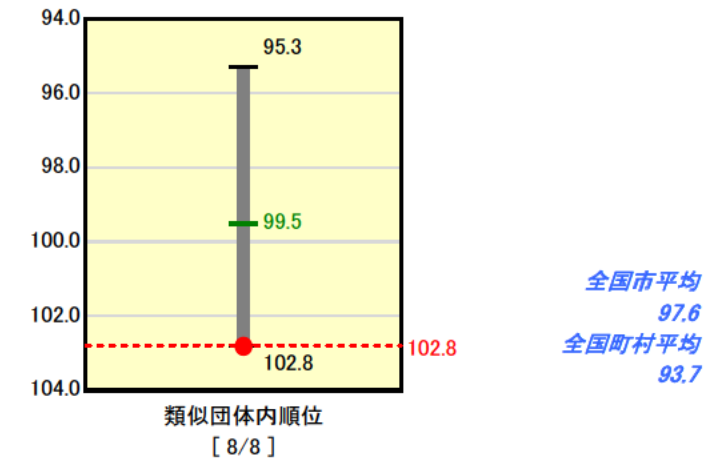
起債制限比率 **[13.9%]**



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

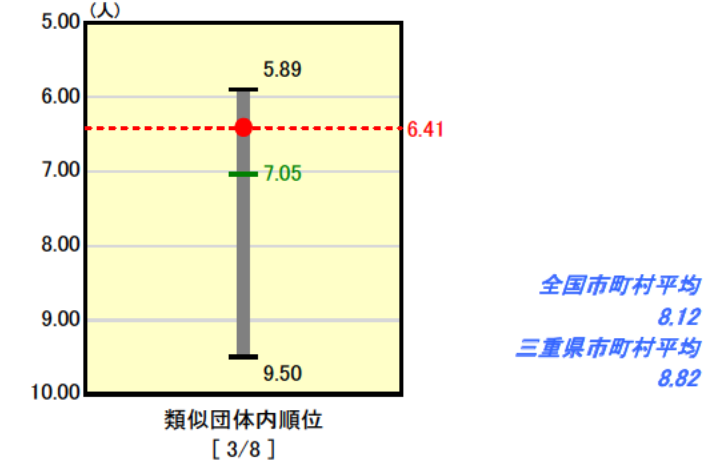
給与水準の適正度(国との比較)

ラスパイレス指数 **[102.8]**



定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数 **[6.41人]**



分析欄

財政力指数:個人・法人市民税の減少により、平成7年度以降減少を続け、平成12年度に1を下回った後、0.9台を減少し続けています。

経常収支比率:平成12年度以降、市税が減少する一方、公債費等の増により上昇しました。平成15年度には、一時的に改善したものの、平成16年度は普通交付税の減少、扶助費、公債費等の増加の影響により再び増加しました。今後は、人件費、公債費の削減等に努め、指標の適正化を図ります。

起債制限比率:過去の起債に係る償還等に伴い年々上昇し、類似団体平均を大きく上回っているが、市債の発行抑制に努めてきた結果、ここ2~3年間でピークを迎え、その後は減少すると予測しております。

人口1人当たり地方債現在高:過去には大型プロジェクトの実施により市債を大量に発行したが、近年は発行の抑制に努めてきた結果、現状がほぼピークにあり、その後は減少すると予測しております。

ラスパイレス指数:諸手当の見直し等により給与の適正化に努めてきたが、依然として全国的に高い水準にあるため、平成18年度より給与カットや人事院勧告に基づく給与体系の見直しを実施することにより低下させます。

人口1,000当たり職員数:新・行財政改革大綱(平成10年9月策定)に基づく職員定数削減計画以降、平成10年度から毎年2%前後の削減を実施してきました。今後も集中改革プランに沿った事業の見直し等を推進し、より適正な定員管理に努めます。